

## 第1章 実践研究

## 道徳における特別支援教育の扱いについて ～検定教科書の分析を通して～

大西孝志<sup>1), 2)</sup>

2015年（平成27年）小・中学校学習指導要領の一部改正により、道徳が小学校では2018年（平成30年）中学校では2019年（平成31年）から特別の教科道徳として実施されている。それに伴い、検定教科書が使用されることとなった。教材には、従前の文部科学省作成資料「私たちの道徳」や各出版社が発行していた副読本等に掲載されていた定番の読み物に加え、いじめや情報モラル等、現代的な課題が取り上げられている。

道徳の学習指導要領解説においては、現代的な課題の例として、食育、健康教育、消費者教育、防災教育、福祉に関する教育、法教育、社会参画に関する教育、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育等を挙げるとともに「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）の施行を踏まえ、障害の有無などにかかわらず、互いのよさを認め合って協働していく態度を育てるための工夫も求められる。」ことが示されている。

そのため、検定教科書においては、特別支援教育、パラリンピック等、障害に関連する教材が数多く掲載されている。

本稿では96冊の教科書の分析を踏まえ、小・中学校における道徳教科書における特別支援教育の扱われ方及び障害理解教育についての課題について述べることとする。

キーワード：特別の教科道徳、教科書、特別支援教育、障害理解教育

### 1. 目的

特別支援教育の制度が始まり13年が経過した。2019年度（平成31年度）の大学1年生のほとんどは自身が小学校へ就学した時点で校内に特別支援学級が設置されていた世代となった。中央教育審議会答申（2015）では新たな教育課題として「特別支援教育の充実」を挙げられ、学校教育においては特別支援教育の推進が大きな柱として位置付けられた。各教科等の学習指導要領解説（2017～）では、すべての教科等において、学びの困難さの状

---

1) 東北福祉大学教育学部教育学科

2) 東北福祉大学教育・教職センター特別支援教育研究室

況に応じた指導の工夫の意図と手立てが明記されることとなった。また、2016年(平成28年)4月からは障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行となり、国公立の学校等(公的機関)において、障害のある幼児児童生徒に対して必要な支援を講ずることは法的義務と位置付けられた。そのため、各教科等の授業や交流及び共同学習等の機会を通して、特別支援教育に対する理解・啓発のための取組を積極的に行っていくことがこれまで以上に強く求められることになった。

そのため、国語科、社会科などの教科書においても、特別支援教育を扱った教材が数多く取り上げられるようになった。一方、徳田ら(2007)によると、障害者理解の視点からみた小・中学校の教科書の障害及び特別支援教育の扱いは、「かわいそうな人」「常に努力している人」等のステレオタイプの見方につながりやすく、障がい理解教育においてはある程度長い時間をかけて、十分な事前事後指導を行うことが必要不可欠であることが指摘されている。

そこで、本研究では、昨年度から始めて使用されることとなった道徳教科書における特別支援教育の扱いの現状を分析し、指導に当たって留意すべき点等について考察する。

## 2. 方法

### (1) 分析の対象

道徳の検定教科書96点(表1)の全教材(表紙、目次等の挿絵も含む)

表1 小・中学校用道徳検定教科書発行点数

小学校		中学校	
東京書籍	6	東京書籍	3
学校図書	12	学校図書	3
教育出版	6	教育出版	3
光村図書	6	光村図書	3
日本文教出版	12	日本文教出版	6
光文書院	6	学研	3
学研	6	廣済堂あかつき	6
廣済堂あかつき	12	日本教科書	3
	66		30

冊数が倍の出版社は分冊形式(道徳ノート等)の発行であり、2冊組み

### (2) 方法

ゼミ学生の協力を得て、検定教科書に掲載がある特別支援教育に関係する記述、挿絵等を出版社、学年ごとに分析し一覧表にまとめ、扱われている障害種、内容の分類、検討を行った。

### 3. 結果

#### (1) 障害種別の扱い

分類する際のカテゴリーは小学校の教科書は、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、言語障害、その他の障害、ユニバーサルデザイン (UD)、パラリンピックの9項目とした。中学校の教科書は、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、その他の障害、ユニバーサルデザイン (UD)、パラリンピック (パラ五輪)、高齢者、臓器提供、病気、事故による障害、LGBTの14項目とした。また、内容によって複数項目に該当する教材の場合には、いずれにも該当するとした。(例えばヘレン・ケラーを扱った教材は視覚障害、聴覚障害、言語障害の3障害に該当するものとした。) 集計の結果は表2、3の通りである。

表2 小学校 道徳の教科書における特別支援教育関連教材

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	言語障害	その他	UD	パラ五輪	合計
東京書籍	9	3	0	8	1	2	1	0	2	26
学校図書	18	1	1	20	8	1	4	3	7	63
教育出版	1	0	0	10	2	0	0	0	1	14
光村図書	5	2	0	8	4	1	1	1	3	25
日本文教出版社	6	1	0	8	2	2	0	0	4	23
光文書院	7	1	0	8	1	2	3	0	4	26
学研	6	3	0	8	4	1	0	0	2	24
あかつき	6	2	0	12	4	2	0	1	3	30
合計	58	13	1	82	26	11	9	5	26	231

表3 中学校 道徳の教科書における特別支援教育関連教材

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	言語障害	他の障害	UD	パラ五輪	高齢者	臓器提供	病気	事故	LGBT	合計
東京書籍	5	4	2	11	8	2	1	0	4	5	0	0	0	1	43
学校図書	2	1	0	5	2	2	1	0	3	2	2	1	1	2	24
教育出版	4	2	1	8	3	1	3	0	3	1	1	2	0	0	29
光村図書	5	1	2	4	6	1	2	2	3	1	1	1	3	0	32
日本文教出版社	3	1	2	7	4	0	1	0	3	2	1	1	0	1	26
学研	5	3	1	13	0	2	1	1	2	0	1	1	0	0	30
あかつき	0	3	0	10	3	1	1	0	1	1	2	7	1	0	30
日本教科書	6	3	0	8	1	0	1	0	1	0	1	2	1	1	25
合計	30	18	8	66	27	9	11	3	20	12	9	15	6	5	239

小・中学校の教科書とも、特別支援教育に関連した教材が200箇所以上あった。中学校は教科書の発行点数が小学校の約半分の冊数にもかかわらず小学校と同数以上の特別支援教育に関連した教材を掲載していることが分かった。

また、小・中学校を通して障害といじめ、障害とスポーツ、障害と高い希望、あきらめない心など複数の問題・課題を関連させた教材が多く見られた。また、中学校においては、特別支援教育の範疇ではないが、高齢者問題（高齢者と障害）、臓器提供、LGBTといった現代的な課題に関係する教材が見られた。

障害種に関して見ると5障害の扱い件数は、小・中学校とも肢体不自由、視覚障害、病弱、聴覚障害、知的障害の順になっている。児童生徒が校内で最も接する機会が多いであろう知的障害は道徳の教科書にはあまり扱われていない。特に小学校ではほとんど扱っていない。

## (2) 学年別特別支援教育の扱い

小学校低学年においては、特別支援教育や障害を扱った教材が少ない。また、扱われ方についても特別支援教育・障害に関する読み物という位置付けよりは、学校の挿絵の中に車椅子等が自然に描き込まれているものが多い。一方、学年が上がるにつれて、当事者の手記等から生き方や支援について考えさせる教材が増加する。学年別の扱いについては表4、5の通りである。

表4 小学校 学年別の特別支援教育関連教材

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	言語障害	その他	U D	パ ラ 五 輪	合 計
1 年	0	0	0	11	0	0	1	1	3	16
2 年	4	0	0	3	0	0	0	0	3	10
3 年	10	1	1	12	4	2	2	2	3	37
4 年	16	3	0	19	5	2	0	0	5	50
5 年	13	7	0	16	10	5	4	0	4	59
6 年	15	2	0	21	7	2	2	2	8	59
合 計	58	13	1	82	26	11	9	5	26	231

表5 中学校 学年別の特別支援教育関連教材

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	言語障害	他の障害	U D	パラ五輪	高齢者	臓器提供	病気	事故	L G B T	合計
1年	13	7	3	28	9	3	4	3	7	3	1	2	3	1	87
2年	12	7	3	23	9	4	5	0	7	4	2	6	2	3	87
3年	5	4	2	15	9	2	2	0	6	5	6	7	1	1	65
合計	30	18	8	66	27	9	11	3	20	12	9	15	6	5	239

### (3) 自伝（半生記）及び当事者をモデルとした教材について

道徳の教科書には、野口英世（肢体不自由）、山下清（知的障害・言語障害）、辻井伸行（視覚障害）、といった著名な当事者をモデルとした教材が見られる。小・中学校の道徳の教科書に掲載されている当事者は表6の通りである。

表6 小・中学校道徳の教科書で扱われている著名人と掲載数

人物、障害種、職業等	掲載数		人物、障害種、職業等	掲載数	
	小学校	中学校		小学校	中学校
辻井伸行（視覚障害 ピアニスト）	1	0	廣道 純（肢体不自由 パラ五輪）	0	2
ルイ・ブライユ（視覚障害 点字考案）	1	0	村上清加（肢体不自由 パラ五輪）	0	2
鑑真和尚（視覚障害 僧侶）	1	0	成田真由美（肢体不自由 パラ五輪）	0	2
棟方志功（視覚障害 版画家）	1	1	大日方邦子（肢体不自由 パラ五輪）	1	1
塙保己一（視覚障害 江戸時代学者）	0	2	土田和歌子（肢体不自由 パラ五輪）	0	1
道下美里（視覚障害 パラ五輪）	0	1	石井正一（肢体不自由）	0	3
高橋勇一（視覚障害 パラ五輪）	0	1	猿渡 瞳（肢体不自由・病弱）	1	1
川島成道（視覚障害 バイオリン奏者）	0	1	宮越由貴奈（病弱）	6	0
福島 智（盲ろう 研究者）	0	1	柳橋佐江子（病弱）	2	1
ヘレン・ケラー（盲ろう・言語障害）	6	3	金澤翔子（ダウン症 書道家）	1	0
ベートーベン（聴覚障害 作曲家）	1	0	加藤秋雪（ダウン症）	1	1
山下潔（知的障害・言語障害 画家）	1	0	石川倉次（日本訓盲点字翻案）	1	0
野口英世（肢体不自由 医者）	5	1	糸賀一雄（近江学園創設）	0	2
谷真海（肢体不自由 パラ五輪）	6	4	石井亮一（滝乃川学園創設）	0	2
国枝慎吾（肢体不自由 パラ五輪）	3	2	塩谷賢一（盲導犬育成創始者）	0	1
水木しげる（肢体不自由 漫画家）	2	1	三宅精一（点字ブロック考案者）	0	1
星野富弘（肢体不自由 画家）	2	3			

ヘレン・ケラー、野口英世がそれぞれ9教材、6教材と扱が多い。東京パラリンピック招致の際にプレゼンテーションを行ったパラリンピアンである谷真美（旧姓佐藤）選手は、小・中学校合わせて10教材で取り上げられている。初めての検定教科書では、2020年オリンピック・パラリンピックを控え、パラアスリートによる体験談が多いことも特徴的である。

#### (4) 教科書における特別支援教育の扱い方

道徳の教科書に掲載されている、特別支援教育、障害を扱った教材をカテゴリーに分類すると以下ようになる。

##### ①障害、特別支援教育をテーマとした教材

障害による学習上・生活上の困難さについて学んだり、周囲に求められるかわり等を考えさせたりするために、当事者及び障害に関係するものを扱った主な教材は、表7の通りである。

表7 障害、特別支援教育をテーマとした教材

教材名	出版社	学年	内容
「耳の聞こえないお母さんへ」	東京書籍	小学3年	聴覚障害のある母への手紙
「がんばれ車いすのびよんた」	学校図書	小学1年	
「わたしたちの『わ』」	教育出版	小学3年	車椅子の友人への接し方
「見えないしょうがい気づくこと」	光村図書	小学4年	ヘルプマーク
「これって不公平？」	日本文教出版	小学5年	車椅子の友とのキャッチボールの仕方
「心の優先席」	光文書院	小学3年	電車内の優先席
「目の見えない犬」	学研	小学5年	
「車いすの少女」	あかつき	小学6年	
「たんぼぼ作業所」	東京書籍	中学1年	障害者福祉施設を扱った教材
「誰も知らない」	学校図書	中学1年	登場人物が特別支援学校在籍
「片足のアルペンスキーヤー三澤拓」	学校図書	中学3年	
「いっぱい生きる全盲の中学校教師」	学研	中学1年	
「公平とは何だろう」	学研	中学1年	公平と平等、合理的配慮
「ニュースで討論 支え合いは当たり前」	日本教科書	中学3年	障害者差別解消法

##### ②当事者自伝や伝記等をテーマとした教材

障害がある当事者の生き方を通して、目標に向かって強い意志を持ち粘り強く努力する態度や生命の尊さなどを考えさせる主な教材は、表8の通りである。3 (3) に記した当事者を取り上げた教材が多い。

表8 当事者の自伝や伝記等をテーマとした教材

教材名	出版社	学年	内容
「ベートーベン」	東京書籍	小学5年	重度難聴
「清のゆめ～山下清」	学校図書	小学3年	放浪画家、貼り絵
「志を得ざれば、再びこの地を踏まず 野口英世と母シカの物語」	教育出版	小学6年	野口英世の生涯
「ヘレンと共に～アニー・サリバン」	日本文教出版	小学5年	サリバン先生の偉業
「鬼太郎を描いたゲゲゲさん」	学研	小学3年	片腕の漫画家水木しげる氏の生涯
「花に寄せて」	東京書籍	中学1年	星野富弘氏の絵、詩
「人権課題への取組」	日本文教出版	中学1年	近江学園創設者、糸賀一雄氏の仕事
「絶望からの生還」	日本教科書	中学2年	盲ろうの大学教授福島智氏の半生

## ③障害がある子どもの記録や手紙をテーマとした教材

病気等のため、若くして生涯を終えた子どもの実話を通して、生きることの素晴らしさや命の大切さを考えさせる主な教材は、表9の通りである。主人公が読み手である小・中学生と年齢が近いこともあり、自分に置き換えて命の尊さを考えることができる教材である。

表9 障害がある子どもの記録や手紙をテーマとした教材

教材名	出版社	学年	内容
「六さいのおよめさん」	学研	小学3年	小児ガンのケイコさんの話
「さいたよ、浩祐君のアサガオ」	学校図書	小学3年	浩祐君が残したアサガオの種が全国へ広がる
「たった一つのたからもの」	学校図書	小学5年	心臓に障害があった加藤秋雪君の生涯
「友のしょう像画」	あかつき	小学5年	療養所に入った友との友情
「お母さんへの手紙」	東京書籍	小学6年	心臓病の柳橋佐江子氏が書き残した手紙
「電池が切れるまで」	学研	小学6年	院内学級に在籍の宮越由貴奈さんの詩
「365×14回分のありがとう」	光村図書	中学2年	柳橋佐江子さんの書き残した手紙
「命を見つめて 猿渡瞳さんの646日」	日本文教出版	中学2年	骨肉腫の瞳さんの記録

## ④パラリンピックやパラリンピアンをテーマとした教材

2020年（令和2年）東京オリンピック・パラリンピックの機運の高まりに合わせて、パラリンピックで活躍する選手の取扱いが多い。また、パラリンピックのみならず、表10のように障害者スポーツ全般にわたっての教材が掲載されている。



表10 パラリンピックやパラリンピアンをテーマとした教材

教材名	出版社	学年	内容
「リオ オリンピック・パラリンピック」	東京書籍	小学6年	リオの五輪大会
「ゆめに向かって ジャンプ」	学校図書	小学4年	谷真海氏 スポーツ義足 陸上
「自分を変えるのは自分」	教育出版	小学6年	秦由加子氏 パラトライアスロン)
「世界最強のプレーヤー国枝慎吾」	光村図書	小学5年	車椅子テニス
「パラリンピックの用具」	光文書院	小学6年	ハンドサイクル、チェアスキー
「兵後さんのパラリンピック」	あかつき	小学6年	弱視の兵後さんのスポーツマンシップ
「夢への挑戦 パラカヌー」	教育出版	中学1年	瀬立モニカ氏 カヌー
「夢を求めてパラリンピック」	光村図書	中学2年	成田真由美氏 水泳
「誰もがスポーツを楽しめる社会に」	学 研	中学2年	ブラインドサッカー、デフサッカー 知的障害者サッカー、精神障害者サッカー
「廣道純さんからのメッセージ」	日本教科書	中学2年	廣道純氏 車椅子アスリート

⑤障害そのものを扱っているわけではないが、特別支援教育に関連する記述等がある教材  
 道徳の教科書の教材には、表11に示すように特別支援教育や障害に関連する記述や  
 挿絵が何気なく描かれているものが多い。「ありがとうを見つけよう」(学校図書1年)は、  
 感謝を扱った教材であるが、見開き2頁の中にある教室に車椅子の児童が小さく描かれ  
 ている。また、勤労・公共の精神を扱った「世界が驚く7分間清掃」(光文書院6年)は、  
 新幹線ホームに点字ブロックがある。「君が生まれた日」(学校図書中学1年)は、母親

表11 特別支援教育に関連する記述等がある主な教材

教材名	出版社	学年	内容
「がっこうだいすき」	学校図書	小学1年	学校の教室に車椅子児童
「なにをしているのかな」	日本文教出版	小学1年	校庭に車椅子に乗ったクマさんの絵
「どうとくのとびら」	日本文教出版	小学3年	白杖を持つ男性のイラスト
「ありがとうを見つけよう」	学校図書	小学1年	町内の地図の中に車椅子の子ども
「たのしいがっこう」	教育出版	小学1年	車椅子の子どもの挿絵
「なにに気をつければよいのかな」	東京書籍	小学2年	点字ブロックのイラスト
「みんながくらしやすい町」	光村図書	小学3年	町内俯瞰図に白杖、点字ブロック、音響 信号、車椅子
「駅前広場はだれのもの」	東京書籍	小学5年	点字部録の挿絵
「世界が驚く7分間清掃」	光文書院	小学6年	新幹線ホームの点字ブロック
「放置自転車」	学校図書	小学6年	点字ブロック、白いつえ
「君が生まれた日」	学校図書	中学1年	主人公の母は特別支援学校の教師
「カラカラカラ」	光村図書	中学2年	点字ブロックのイラスト
【教科書の表紙挿絵】	日本文教出版	中学2年	表紙に車椅子の挿絵
【目次の挿絵】	学 研	中学校全年	目次に車椅子のイラスト



の職業が特別支援学校の教師とある。また、表紙や目次ページに車椅子の挿絵を掲載している教科書もある。これらの教材では、教師の指導意図が特別支援教育に向けられていない場合には、障害について扱わないでおわってしまう可能性も考えられる。

内容項目「勤労」をテーマとした「役に立つことができるかな」においては、以下（表12）のように特別支援教育の理念そのものを扱った記述が見られる。

表12 「役に立つことができるかな」 より抜粋

<p>（主人公は、消防署での職場体験の後、電車内でパニックになった小学生と先生の行動を見た。以下は、帰宅後の姉との会話。）</p> <p>家に帰って、すぐ姉に電車のできごとを話した。姉は大学で小学校の先生になるための勉強をしている。</p> <p>「そう、そんなことがあったの。」</p> <p>「うん・・・。」</p> <p>しばらくして姉が話し始めた。</p> <p>「あのね、その子、もしかしたら障害があるのかもしれない。原因はわからないけど、小さいときから言葉がうまく話せなかったり、人との関わりをもちにくかったりするの。だから同じ年代の子どもにできることがなかなか身につかないの。それに自分だけのこだわりがあって、同じことを何度も繰り返ししたりするのよ。」</p> <p>「治療すれば治るの。」</p> <p>と、僕は聞いた。</p> <p>「治療というよりも、その子の個性をしっかりと理解して、その子に合った支援と教育を続けていくことで、社会に出て生活できるようになると思うわ。大切なのは周りの人の理解なのよ。」</p> <p>（中略）</p> <p>夕食後、部屋に戻り、今日一日のことを思い出してみた。</p> <p>職場体験では、消防士って大変だけどやりがいのある仕事だなと思った。みんなの安全な生活を守るために昼も夜も頑張っている。まだはつきりとは分らないけれど、めざしてみてもいいかなという気持ちになった。それから帰りの電車で見かけた先生のように、障害のある人が社会で当たり前に暮らせるように、支えていくことも大事な仕事だと思った。（以下略）</p> <p>日本文教出版 中学道徳1 明日を生きる</p> <p>「役に立つことができるかな」 172-175</p>
--

これからの社会の担い手となる子どもたちは小・中学校の9年間を通して、こららのような教材に触れ、特別支援教育や障害についての理解を深めていくことになる。

#### 4. 考察

道徳では目標を達成するために指導すべき内容項目を以下の4つの視点から、「第1学年及び第2学年」「第3学年及び第4学年」「第5学年及び第6学年」「中学校」の各学年段階に分けて分類している。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

内容項目は発達段階に合わせて「第1学年及び第2学年」が19項目、「第3学年及び第4学年」が20項目、「第5学年及び第6学年」と「中学校」が22項目にまとめられている。これらの22の内容項目には「障害者理解」といった、特別支援教育そのものを扱うものはないが、障害のある人の体験などと、学習上または行動上の困難等を結びつけて学習を進めることができるようになっている。例えば、パラリンピック選手の手記を取り上げ、内容項目「希望と勇気、努力と強い意志」を指導したり、「耳の聞こえないお母さんへ」という母親に聴覚障害がある児童の手紙を扱った教材で「家族愛、家庭生活の充実」を考えたりすることができるようになっている。このような教科書のつくりは、いじめ問題を幅広く様々な教材で扱っている点と同様である。

道徳の教科書には、たくさんの特別支援教育、障害を扱った教材が掲載されているが、指導者側の教材研究及び指導時間の不足といった条件が重なると、障害をマイナス面で捉え、子どもたちの理解も障害は不便なこと、気の毒なことという従前の医学的モデルの障害理解にとどまってしまう。社会にある「障害＝バリア」を取り除いていくためには、心身の機能に障害がある人が社会的障壁によって、どんな困りごとや痛みがあるのかといった、合理的配慮の重要性に気付くことが必要である。また、障害は多様であり、それぞれが感じる「バリア」は違う。道徳の授業を進めるに当たっては、心身の機能障害等の特性に対する理解を深めるだけでなく、交流及び共同学習の機会等を通して、障害当事者とのコミュニケーションを通じて、どのようなことに困っているのか、それを取り除くために自分には何ができるのかを考えさせる指導が大切である。

そのためには指導者自身が、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの意義、多様性を認め合う社会を追求することの大切さについて深い理解をもたねばならないと考える。

## 文献

朝倉喩美子 (2017) 道徳きみがいちばんひかるとき1年～6年, 光村図書.

中央教育審議会 (2015) これからの学校教育を担う教員の資質・能力の向上について (答申), 平成27年12月21日.

林泰成 (2017) 小学道徳はばたこう明日へ1年～6年, 教育出版.

林泰成 (2018) 中学道徳とびだそう未来へ1年～3年, 教育出版.

- 加藤宣行 (2017) 小学道德ゆたかな心1年～6年, 光文書院.
- 松尾直博 (2018) 輝け未来中学校道德1年～3年, 学校図書.
- 文部科学省 (2017) 小学校学習指導要領解説特別の教科道德編, 廣濟堂あかつき.
- 永田繁雄 (2017) みんなの道德1年～6年, 学研.
- 永田繁雄 (2018) 中学生の道德明日への扉1年～3年, 学研.
- 越智貢 (2018) 中学道德明日を生きる・道德ノート1年～3年, 日本文教出版.
- 大原龍一 (2017) かがやけ未来小学校道德読み物・活動1年～6年, 学校図書.
- 島恒生 (2017) 小学道德生きる力・道德ノート1年～6年, 日本文教出版.
- 白木みどり (2018) 道德中学校1生き方から学ぶ, 日本教科書.
- 白木みどり (2018) 道德中学校2生き方を見つめる, 日本教科書.
- 白木みどり (2018) 道德中学校3生き方を創造する, 日本教科書.
- 杉中康平 (2018) 中学道德きみがいちばんひかるとき1年～3年, 光村図書.
- 徳田克己・西館有紗・水野智美・石上智美・小野聡子 (2007) 障害理解の視点から見た小・中学校の教科書と道德副読本の問題点 (自主シンポジウムA5), 日本教育心理学会総会発表論文集第49回総会発表論文集.
- 横山利弘 (2017) みんなで考え話し合う小学生の道德, 自分を見つめ考える道德ノート1年～6年, 廣濟堂あかつき.
- 横山利弘 (2018) 中学生の道德・ノート 自分を見つめる1, 廣濟堂あかつき.
- 横山利弘 (2018) 中学生の道德・ノート 自分を考える2, 廣濟堂あかつき.
- 横山利弘 (2018) 中学生の道德・ノート 自分をのばす3, 廣濟堂あかつき.
- 渡邊満 (2017) 新しい道德1年～6年, 東京書籍.
- 渡邊満 (2018) 新しい道德1年～3年.